

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成18年1月5日(2006.1.5)

【公表番号】特表2002-513295(P2002-513295A)

【公表日】平成14年5月8日(2002.5.8)

【出願番号】特願平11-508744

【国際特許分類】

C 12 N	15/09	(2006.01)
A 61 K	31/711	(2006.01)
A 61 K	35/36	(2006.01)
A 61 P	7/00	(2006.01)
A 61 P	25/00	(2006.01)
A 61 P	29/00	(2006.01)
A 61 P	37/00	(2006.01)
C 07 K	14/47	(2006.01)
C 12 N	1/15	(2006.01)
C 12 N	1/19	(2006.01)
C 12 N	1/21	(2006.01)
C 12 N	5/10	(2006.01)
A 61 K	38/00	(2006.01)

【F I】

C 12 N	15/00	Z N A A
A 61 K	31/711	
A 61 K	35/36	
A 61 P	7/00	
A 61 P	25/00	
A 61 P	29/00	
A 61 P	37/00	
C 07 K	14/47	
C 12 N	1/15	
C 12 N	1/19	
C 12 N	1/21	
C 12 N	5/00	A
A 61 K	37/02	

【手続補正書】

【提出日】平成17年6月29日(2005.6.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】補正の内容のとおり

【補正方法】変更

【補正の内容】

# 手続補正書

平成17年 6月29日

特許庁長官殿



1. 事件の表示

平成11年特許願第508744号

2. 補正をする者

氏名（名称） ヒューマン・ジェノム・サイエンシズ・  
インコーポレイテッド

3. 代理人

住所 〒540-0001  
大阪府大阪市中央区城見1丁目3番7号 IMPビル  
青山特許事務所  
電話 06-6949-1261 FAX 06-6949-0361

氏名 弁理士 (6214) 青山 葵



4. 補正により増加する請求項の数 17



5. 補正対象書類名 請求の範囲

6. 補正対象項目名 請求の範囲

7. 補正の内容  
別紙のとおり。



(別紙)

請求の範囲

1. (a) 配列番号：Xとハイブリダイズできる、配列番号：XのポリヌクレオチドフラグメントまたはATCC寄託番号：Zに含まれるcDNA配列のポリヌクレオチドフラグメント；  
(b) 配列番号：Xとハイブリダイズできる、配列番号：YのポリペプチドフラグメントまたはATCC寄託番号：Zに含まれるcDNA配列によってコードされるポリペプチドフラグメント、をコードするポリヌクレオチド；  
(c) 配列番号：Xとハイブリダイズできる、配列番号：YのポリペプチドドメインまたはATCC寄託番号：Zに含まれるcDNA配列によってコードされるポリペプチドドメイン、をコードするポリヌクレオチド；  
(d) 配列番号：Xとハイブリダイズできる、配列番号：YのポリペプチドエピトープまたはATCC寄託番号：Zに含まれるcDNA配列によってコードされるポリペプチドエピトープ、をコードするポリヌクレオチド；  
(e) 配列番号：Xとハイブリダイズでき且つ生物学的活性を有する、配列番号：YのポリペプチドまたはATCC寄託番号：Zに含まれるcDNA配列、をコードするポリヌクレオチド；  
(f) 配列番号：Xの変異体であるポリヌクレオチド；  
(g) 配列番号：Xのアレル変異体であるポリヌクレオチド；  
(h) 配列番号：Yに相同な種をコードするポリヌクレオチド；  
(i) (a)～(h)において述べたいずれか1つのポリヌクレオチドにストリンジエントな条件下でハイブリダイズできるポリヌクレオチドであって、該ポリヌクレオチドはA残基のみまたはT残基のみのヌクレオチド配列を有する核酸分子にストリンジエントな条件下でハイブリダイズしないもの；  
からなる群から選ばれる配列と少なくとも95%が同一であるヌクレオチド配列を有するポリヌクレオチドを含有する、単離核酸分子。
2. ポリヌクレオチドフラグメントが分泌タンパク質をコードするヌクレオチド配列を含む、請求項1記載の単離核酸分子。

3. ポリヌクレオチドフラグメントが、配列番号：Xとハイブリダイズできる、配列番号：Yと同定された配列またはATCC寄託番号：Zに含まれるcDNA配列によってコードされるポリペプチド、をコードするヌクレオチド配列を含む、請求項1記載の単離核酸分子。
4. ポリヌクレオチドフラグメントが、配列番号：Xとハイブリダイズできる、配列番号：Xの完全ヌクレオチド配列またはATCC寄託番号：Zに含まれるcDNA配列を含む、請求項1記載の単離核酸分子。
5. ヌクレオチド配列がC一末端またはN一末端のいずれかからの逐次ヌクレオチド欠失を含む、請求項2記載の単離核酸分子。
6. ヌクレオチド配列がC一末端またはN一末端のいずれかからの逐次ヌクレオチド欠失を含む、請求項3記載の単離核酸分子。
7. 請求項1記載の単離核酸分子を含有する組換えベクター。
8. 請求項1記載の単離核酸分子を含有する組換え宿主細胞の製造法。
9. 請求項8記載の方法によって産出される、組換え宿主細胞。
10. ベクター配列を含有する、請求項9記載の組換え宿主細胞。
11. (a) 配列番号：YのポリペプチドフラグメントもしくはATCC寄託番号：Z中に含まれるそのコード配列；  
(b) 生物学的活性を有する、配列番号：YのポリペプチドフラグメントもしくはATCC寄託番号：Zに含まれるそのコード配列；  
(c) 配列番号：YのポリペプチドドメインもしくはATCC寄託番号：Zに含まれるそのコード配列；  
(d) 配列番号：YのポリペプチドエピトープもしくはATCC寄託番号：Z中に含まれるそのコード配列；  
(e) 配列番号：Yの分泌形態もしくはATCC寄託番号：Z中に含まれるそのコード配列；  
(f) 配列番号：Yの完全長タンパク質もしくはATCC寄託番号：Z中に含まれるそのコード配列；  
(g) 配列番号：Yの変異体；  
(h) 配列番号：Yのアレル変異体；または

(i) 配列番号：Yに相同な種；

からなる群から選ばれる配列と少なくとも95%同一のアミノ酸配列を含有する、単離ポリペプチド。

12. 該分泌形態または該完全長タンパク質がC-末端またはN-末端のいずれかからの逐次アミノ酸欠失を含む、請求項11記載の単離ポリペプチド。

13. 請求項11記載の単離ポリペプチドに特異的に結合する、単離抗体。

14. 請求項11記載の単離ポリペプチドを発現する、組換え宿主細胞。

15. (a) 該ポリペプチドが発現するような条件下、請求項14記載の組換え宿主細胞を培養し；次いで

(b) 該ポリペプチドを回収する；

ことを含む、単離ポリペプチドの製造法。

16. 請求項15記載の製造法によって製造される、ポリペプチド。

17. 請求項11記載のポリペプチドまたは請求項1記載のポリヌクレオチドの治療学的に有効な量を含有する、医学的な病気を予防、治療または軽減するための組成物。

18. 病理状態または病理状態に対する罹患性を診断する方法であって、

(a) 生物学的な試料を得て；

(b) 該生物学的な試料中での請求項1記載のポリヌクレオチドにおける突然変異の有無を決定し；

(c) 該突然変異の有無に基づいて、病理状態または病理状態に対する罹患性を診断する、

ことを含む、該方法。

19. 病理状態または病理状態に対する罹患性を診断する方法であって、

(a) 生物学的な試料を得て；

(b) 該生物学的試料中での請求項11記載のポリペプチドの発現の存在または量を決定し；

(c) 該ポリペプチドの発現の存在または量に基づいて病理状態または病理状態の罹患性を診断する、

ことを含む、該方法。

20. 請求項11記載のポリペプチドに対する結合パートナーを同定するための方法であって、

- (a) 請求項11記載のポリペプチドと結合パートナーとを接触させ；そして、
- (b) 該結合パートナーが該ポリペプチドの活性に影響を及ぼすかどうかを決定する、

ことを含む、該方法。

21. 配列番号：YのcDNA配列に相当する、遺伝子。

22. 生物学的アッセイにおける活性を同定する方法であって、

- (a) 細胞中で配列番号：Xを発現し；
- (b) 上澄みを単離し；
- (c) 生物学的アッセイにおける活性を検出し；そして、
- (d) 該活性を有する上澄み中のタンパク質を同定する；

ことを含む、該方法。

23. 請求項22記載の方法によって得られる、産物。

24. (a) 配列番号235のアミノ酸1～111を含有するポリペプチドをコードするポリヌクレオチド；

(b) 配列番号235のアミノ酸27～111を含有するポリペプチドをコードするポリヌクレオチド；

(c) ATCC寄託番号：209125中のHHTLF25 cDNAによってコードされる完全長HHTLF25ポリペプチドをコードするポリヌクレオチド；

(d) ATCC寄託番号：209125中のHHTLF25 cDNAによってコードされる、シグナルペプチドを引いた、HHTLF25ポリペプチドをコードするポリヌクレオチド；

からなる群から選ばれるヌクレオチド配列を有するポリヌクレオチドを含有する、単離核酸分子。

25. ポリヌクレオチドはDNAである、請求項24記載の単離ポリヌクレオチド。

26. ポリヌクレオチドはRNAである、請求項24記載の単離ポリヌクレオチ

ド。

27. 異型ポリヌクレオチドと融合する、請求項24～26のいずれか1つに記載の単離ポリヌクレオチド。

28. 異型ポリヌクレオチドは異型ポリペプチドをコードする、請求項27記載の単離ポリヌクレオチド。

29. 請求項24～28のいずれか1つに記載のポリヌクレオチドを含有する組換えベクター。

30. ポリヌクレオチドは、原核または真核の宿主細胞中の発現を可能とする発現コントロール配列と作動可能に連結した、請求項29記載の組み換えベクター。

31. 請求項29または30のいずれか記載のベクターを用いて遺伝子改変した、組換え宿主細胞。

32. 宿主細胞は、原核細胞、真核細胞、細菌細胞、昆虫細胞、大腸菌細胞、Sf9細胞、Cos細胞、CHO細胞、真菌細胞、または酵母菌細胞である、請求項31記載の組換え宿主細胞。

33. 請求項31または32のいずれか記載の宿主細胞を培養し、そして該ポリヌクレオチドによってコードされたポリペプチドを回収することを含む、ポリペプチドを產生する方法。

34. 請求項24～28のいずれか1つに記載のポリヌクレオチドによってコードされるかまたは請求項33記載の方法によって得ることができる、アミノ酸配列を含有するポリペプチド。

35. (a) 配列番号235のアミノ酸1～111；

(b) 配列番号235のアミノ酸27～111；

(c) ATCC寄託番号：209125中のHHTLF25 cDNAによってコードされる完全長HHTLF25ポリペプチドのアミノ酸配列；

(d) ATCC寄託番号：209125中のHHTLF25 cDNAによってコードされる、シグナルペプチドを引いた、HHTLF25ポリペプチドのアミノ酸配列；

からなる群から選ばれるアミノ酸配列を含有する、単離ポリペプチド。

36. ポリペプチドは標識化され、改変され、またはポリエチレングリコールと

縮合される、請求項34または35のいずれか記載のポリペプチド。

37. ポリペプチドは異型ポリペプチドと縮合する、請求項34または35のいずれか記載のポリペプチド。

38. 請求項24～26のいずれか1つに記載のポリヌクレオチドによってコードされるポリペプチドまたは請求項35記載のいずれか1つのポリペプチド、と特異的に結合する、単離抗体またはそのフラグメント。

39. 細胞によって分泌される、HHTLF25タンパク質と特異的に結合する、単離抗体またはそのフラグメントであって、ここで、該細胞は、請求項24～26のいずれか1つに記載のポリヌクレオチドによってコードされるポリペプチドまたは請求項35記載のいずれか1つのポリペプチド、を含む該単離抗体またはそのフラグメント。

40. 抗体は、ポリクローナル、モノクローナル、キメラ、一本鎖、ヒト化抗体、またはFabフラグメントである、請求項38または39のいずれか記載の単離抗体。